



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第41号

2023年4月15日発行

ホームページ <http://attaka2018.starfree.jp/>



2011年3月11日の東日本大震災より12年が経過しました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

福祉教育で出会い・学び・育ち合う

あったかウェルねっと代表 横田八枝子

その出会いと学びは、2000年埼玉県社協主催の福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修から今日まで創意工夫しながら、複雑化する福祉課題と向き合い「福祉教育(共に生きる力)」の理論を実践へと結び、早22年が経った。

設立当初から長きに亘り、温かくご指導ご支援くださる、原田正樹先生、佐藤陽先生、松本すみ子先生、河村美穂先生、諏訪徹先生、中島修先生、菱沼幹男先生、そして県社協、市町村社協等関係する皆様には心より感謝している。

おかげさまで「あったかウェルねっと 22年のあゆみ」が発行される運びになった。

しかし、埼玉県の超少子高齢化 2025年は目下だが、2050年人口問題に加えて、コロナ禍やウクライナ侵略の収束や自然環境への不安など、社会福祉課題は複雑化・多様化している。

誰もが普通に幸せに暮らせる社会に向けて、いま一度、初心に立ち戻り、自己・他者理解、相互理解を基に福祉教育を通して精進したい。

～*～

2023年度あったかウェルねっと総会及び合同研修会をオンラインで行ないます。

お知らせ 総会・研修会

2023年度ねっと総会

日時：2023年5月21日(日)

方法：Zoomによるオンライン

(インターネット環境が無い方はご相談ください。)

開始：11時00分 議事終了：11時40分(予定)

11時40分以降 情報交換・その他

対象：正会員・賛助会員及び会員を希望する方

年会費：正会員 1,000円

賛助会員 1口：500円

事前の申込みをお願いします。

ねっと総会の申し込みは、ねっと事務局へ。

氏名・連絡先・市町村・所属を明記の上メールでお知らせください。申込み締切り：5月13日(土)

申込先：ねっと事務局(須田)

メール：attakawelnet@gmail.com

ファクスの場合は049-283-1865(FAX用)へ

～*～

総会終了後、以下のように研修会を行ないます。

あったかウェルねっと・若者への福祉教育研究会
 埼玉県社協 地域福祉推進プラットフォーム
 合同研修

2023年度ねっと研修会(県社協と合同研修) 地域で共に生きる

～「幸せなみらい」に向けてともに歩むには～

日時：2023年(令和5年)5月21日(日)

13時00分～16時00分

会 場：Zoomによるオンライン

参加費：無料

対 象：ボランティア、社協職員など関心のある方どなたでも

講師：原田 正樹氏（日本福祉大学 学長）

川田 虎男氏（聖学院大学ボランティア活動支援センター）

平野 千恵氏（おおぞら高校川越キャンパス教員）

高橋 奈穂氏（一般社団法人レク寺子屋代表）

内容：基調講演・シンポジウム・グループワーク

◆基調講演：原田 正樹氏「地域共生社会とは」
多様な地域課題と地域の役割～福祉教育の視点から

◆シンポジウム：コーディネーター川田 虎男氏
大学ボランティアセンターの取組みから
「与えることで与えられるもの」
シンポジスト

平野 千恵氏「出会いとつながり～みらいを描く力を身につける～」

高橋 奈穂氏「多様な個性を知ることから
始まる～地域から広げたい国際交流～」

◆グループワーク「互いに学び合う福祉」

◆トークセッション「幸せなみらい」に向けてともに歩むには

◆まとめ：原田 正樹氏、川田 虎男氏

* 詳細については、別紙チラシをご覧ください。

申込み先は県社協：QRコード→



開催前日までにZOOM参加のためのURLが指定のアドレスに送られます。

申し込みは**5月5日（金）**までに

※<https://ws.formzu.net/fgen/S88564209/>

※ねっと会員・賛助会員で、オンライン参加が難しい方は、ねっと事務局須田（080-8122-4496）までお問い合わせください。

開催趣旨

これからの「地域の福祉文化」醸成に向け、「共に学び、共に生きる」「福祉教育・ボランティア学習」推進にはさらに多様な連携が求められています。子ども・障がい者・高齢者といった対象者ごとではなく、生きづらさを抱えているすべての人たちが自分を実

現していく道すじを進めるよう、「豊かな心」「共に生きる力」を育む実践につなげる必要があります。

子どもが育ちおとなも育ち、「幸せなみらい」に向けてともに歩むには何が必要で、何ができるかを学び合い、みんなで「ふくしの輪」を広げていけるよう、埼玉県社会福祉協議会とあったかウェルねっと・若者への福祉教育研究会が合同で開催します。

ご参加をお待ちしています。

報告

まなびばしゃべりば冬カフェ
「サポート校」をご存じですか？
なりたい大人になるためにサポート校だからできること

2月24日（金曜）、平野 千恵氏（おおぞら高校川越キャンパス教員）を迎え、コーディネーター小川 和広氏（川越市社会福祉協議会）との対談形式で、オンラインにて行ないました。（参加19名）



通信高校の概要を伺い、15～20年前と今の生徒像は違ってきていること、通信制やサポート校の認知度が上がっていること等を知りました。

おおぞら高校生徒が一から作る『おおぞらのCMをつくっちゃおう』映像プロジェクトの取組みを通じて、様々な思いを抱いている生徒達の普段の表情を見ることができ、思いを新たにしました。「なりたい大人になるための学校」おおぞら高校では「何に」なりたいか、ではなく「どんな」を考えるとのこと。生徒の自己肯定感を大切に育み、ただ自由なだけでなく「ふつう」で居られることの楽しさ・しあわせを伝え、安心と工夫とつながりを大事にしているところは福祉教育そのものと感じました。

※平野 千恵氏は、2023年度ねっと研修会にも登壇されます。

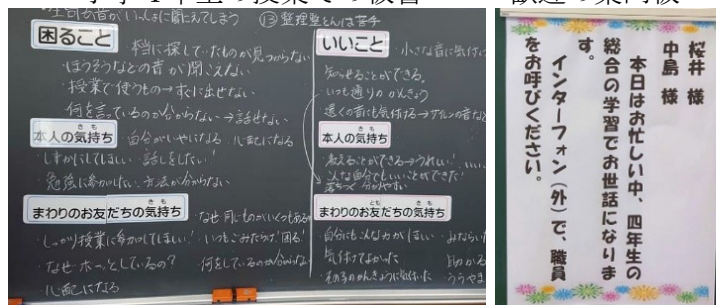
櫻井 栄里さんを偲んで

昨年12月に急逝された櫻井 栄里さん（東松山市）は、独自に開発された「発達凸凹カ

ード」を活かしたワークで福祉教育に尽力されました。困難なこととその時の気持ちを考え、また同じ特性を違う側面から見て利点も考える等、生徒達の意見や気持ちを引き出しながら気づきを深めました。

小学4年生の授業での板書

歓迎の案内板



福祉授業で共に活動した中島 満さんに原稿を寄せていただきました。

栄里さんの思い出

中島 満 (東松山市)

栄里さんが初めて福祉教育をやったのは社会事業大学だった。

初めて授業をしたときは原稿を読むだけだった。その後に依頼があった時も原稿を読むことが続いた。栄里さんに「原稿の内容を見ないで話すことができるようになったら栄里さんの気持ちがもっとよく伝わるよ。」と言った。

原稿を何回も読み直して直しをした。そして前を見て話ができるようになった。

授業の前にどうしようかな、これでいいかな、一生懸命考えていた栄里さん。

授業が終わった後帰りの車の中で「あれでよかったかな。」と必ず聞く栄里さん。

「良かったんじゃない。」と答える。返事がないと思ったら寝ている栄里さん。

どんどん進化していく授業をする栄里さん。「疲れる。」と言いながらも一生懸命に発達凸凹のことを伝える栄里さん。

金子みすゞの詩を読むときやさしく読む栄里さん。

家でいつも編み物をしている、何もしなかったそれでもよかった。

自分がコーヒーを入れていると「栄里さんも

～」と言って待っている栄里さん。

自分のことを「栄里さん。」と呼ぶ栄里さん。そんな栄里さんが大好きだった。

お知らせ

「栄里さんのことを語る会」を開きます。

日時：5月28日(日) 10:00～15:00

会場：東松山市にある福祉センター(東松山社協)

改めての法事ではないので、都合のいい時間に来ていただければいいです。普段着で来ていただき、栄里さんの話をしてください。(中島)

若者への福祉教育研究会コーナー

報告 若者の学びを深める・被災地から学ぶツアー報告 (3月21日～22日)

若者への福祉教育研究会事務局長
牧野 郁子 (鶴ヶ島市社協)

東日本大震災から12年が経過する中で、学びのツアーに参加しました。震災遺構を巡り、被害の状況を確認するとともに復興の様子について、語り部からのお話を聴きました。

様々な活動を行っている「チーム東松山」の松本浩一代表(元教員)にコーディネート及び当日案内をお願いしました。参加メンバーは、「学生御用聞き隊カラズ」の大学生4人、「ひこうき雲」(食を通じたコミュニティづくり)の若者1人、鶴ヶ島市社協ボランティアコーディネーター1人と私、そしてコーディネート役の松本先生の8人でした。

1日目は、石巻市震災遺構 門脇小学校・大川小学校見学、大高森観光ホテル宿泊。

2日目は、嵯峨溪遊覧船乗車の後、松島市震災復興伝承館(旧野蒜駅)で「語り部」山縣嘉恵さんのお話、ワゴン車で移動しながらお話・アンテナショップ「まちんど」(JR 矢本駅前)にてお買い物、野蒜地区「えんまん亭」にて昼食。そして、帰路につきました。

どこに行っても東日本大震災の爪痕は大きく、今も大きな悲しみや苦しみを残している

ことが伝わってきました。特に、74人の児童が亡くなるという悲劇があった大川小学校では、とても斬新な校舎がなお、悲しみを増しているように感じました。

そんな中でも、時間の経過と共に、確実に復興へと踏み出し、この経験を語り伝えたいという思いがひしひしと伝わってきました。また、「語り部」のお話の中で、地域での関係づくり、顔の見える関係、正確な情報が、発災時だけでなく復興期にも、とても重要であるとの話がありました。

すべてにおいて、今の私たちの生活に関わることばかりであったと感じています。このツアーに全面的に協力いただいたチーム東松山の松本先生、受け入れていただいた皆様に感謝し、参加した学生たちと私自身もこの体験を伝えていく立場になりたいと考えています。

県社協からの情報

「第9回地域福祉推進プラットフォーム」を開催しました（3月17日）



今回は「つながりをチカラに～災害支援に関わる様々な団体を知ろう！つながろう！～」をテーマに、新井 利民氏（立正大学 社会福祉学部 准教授）からの講義、そして埼玉県内で災害支援に関わる5つの団体からの活動紹介がありました。

80名を超える方に参加いただき、「問題意識の高い関係者が複数集まることで、これからの発展の可能性を感じた」などの声をいただきました。

今年度も引き続きプラットフォームを開催していきますので、関心のある方はぜひご参加ください。

令和5年度助成金の受付を開始しました

埼玉県社協では4月3日（月）より、ボランティア活動団体への助成金の申込受付を開始しました。

詳しくは埼玉県ボランティア・市民活動センターのホームページをご確認ください。

[https://www.fukushi-](https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/volunteer/research_3.html)

[saitama.or.jp/site/volunteer/research_3.html](https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/volunteer/research_3.html)

事務局情報

情報提供のお願い

～各地域の福祉教育情報をお寄せください～

日頃の活動や地域の状況、感じたこと、福祉課題などの情報をお寄せください。会報、メーリングリストその他で共有しましょう。皆さまからの情報をお待ちしています。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

事務局アドレス attakawelnet@gmail.com

会費振込先のお知らせ

ねっと活動は会費（年1000円、賛助会員一口500円）で運営しています。原則として口座振り込みとなりました。振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

メーリングリストの登録

会員・賛助会員の方にメーリングリスト(ML)で情報をお届けしています。登録希望の方、またアドレスの変更がありましたらお知らせください。

編集後記

季節の移ろいが早く、桜前線も早々に過ぎました。早くも新緑が芽吹き初夏になってしまいました。早くも新緑が芽吹き初夏になってしまいました。コロナ5類移行後も工夫しながら、情報交換の輪を広げていきましょう。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員

ネットワーク（通称：あったかウエルねっと）

編集：あったかウエルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL：048-822-1435 FAX：048-822-3078

Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp